

「ニュースで学ぶリアルな英会話」

外国語部会 伴 良一

地球家族は、30年にわたり、協会の活動や事業の紹介、外国人会員の声を伝える場として大きな役割を果たしてきました。ここでは、協会の事業の一つ「ニュースで学ぶリアルな英会話」を紹介します。中上級者向けの講座として2018年2月にスタート。法政大学名誉教授ジェフ・ハベルさんを講師に第一第三水曜に開催。米国CNNで放送された政治、経済、芸能、スポーツなどのニュースが教材です。ニュースのほか、

ネイティブがよく使うものの日本人には馴染みの薄い慣用語を取り上げます。ニュース、慣用語と進み、90分の授業の最後の30分は、予め決められたテーマにつき、英語で発表するもの。「チョット手強いがリアルな英語が学べる」講座です。定員15名ですが、毎回募集人員を上回るご応募を頂き、地域の皆様の学びのニーズに国際協会として応えることが出来ることに喜びを感じています。

協会報「地球家族」のこれまでとこれから

広報部会

広報部会は、現在は主にこの協会報「地球家族」の制作を中心に活動しています。「地球家族」はこの創立30周年記念特集号で118号を迎えます。

創刊号は、「1992 Vol.1」として1991年の暮に出されたようです。以来、季刊紙として年4回程度の発行を重ね、創立10周年記念号として40号が2001年12月に出されました。そして、2016年6月には節目となる100号が16ページ立てというボリュームで出ています。

「地球家族」が今のようなA4サイズ両面（2ペー

ジ）・カラー印刷となったのは2019年6月発行の111号からです。それまでは、モノクロ印刷の見開き4ページ立てでした。この紙面サイズの切り替えを機に、外国人会員を紹介する企画「シリーズ『この人』」が87回をもって終了しています。

これからの「地球家族」は、KIAのホームページと連携しながら、主として日本人（日本語話者）を対象とし、KIAをもっと知っていただくことに役立てていきたいと考えています。



KIAの各部会は事務局と連携し、支援を得ながら、活動に取り組んでいます。

国際協会30周年記念によせて

事務局

創立30周年にあたり、過去10年をあらためて振り返ると、事務局のひかりプラザ移転や、ホームページのリニューアルなど、たくさんの出来事や変化がありました。

市内外国人数も2012年の48か国・1667人から、今年初めには66か国・2567人と約1.5倍になり、ベトナムやネパール国籍の方が増加。また、KIAの活動では子ども関連活動が増加、多言語の小学校入学案内の作成や親子日本語サロ

ン、「こいがくぼ国際教室」への協力等もこの間に始まりました。

現在はパンデミック下で、イベントの中止連絡などに追われることも多い事務局ですが、こんな時だからこそ、Twitter・Facebook等SNSも活用しながら、積極的に情報発信したり、外国人相談窓口一覧をホームページに掲載するなど、これまでなかなかできなかったことを進めています！

国分寺市国際協会(KIA)

THE KOKUBUNJI INTERNATIONAL ASSOCIATION

〒185-0034 国分寺市光町1-46-8

TEL (042) 505-6132 FAX (042) 505-6138

国際協会事務局 E-mail: info.1991kia@gmail.com

国分寺市国際協会(KIA)協会報「地球家族」
Vol. 118 ●秋号● 発行：2021年11月
発行者 国分寺市国際協会

会員数合計:303 (2021年9月末現在)

- ・ 個人会員:273 (一般:214、外国人:59)
- ・ 家族会員:20 (一般:15、外国人:5)
- ・ 賛助会員:10

ご自由にお取りください。 ※ 国分寺市国際協会(KIA)のホームページ【1991KIA.JP】に掲載している記事の一部を紹介しています。

国分寺市
国際協会協会報
(KIA:キア)



地球家族

オフィシャル
ホームページ
www.1991kia.jp



@1991KIA



創立30周年記念特集号

Vol.118 ●秋号● 2021年11月

2021年11月22日(月)、国分寺市国際協会(KIA)は創立30周年を迎えます。今回の協会報「地球家族」は、この記念特集号です。KIAの会長はじめ、各部会や事務局からのメッセージを中心にお届けします。

KIA30th Anniversary

真の多文化共生社会を目指して

国分寺市国際協会会長 小田 登志子

国分寺市国際協会は、2021年11月に創立30周年を迎えます。会員の中には、創立当時から活動している人もいます。長年の活躍に対して改めて敬意を表します。

この原稿を執筆した2021年の夏は、日本の「内なる国際化」を実感した時期でもありました。東京オリンピックでは世界各地にルーツを持つ日本代表選手が多数出場しました。新型コロナウイルス感染症は収束せず、訪日観光客は姿を消したままであるにもかかわらず、国分寺駅前では中国語やベトナム語などの外国語を耳にしない日はありませんでした。

国分寺市の外国籍人口は、2020年にコロナ禍が始まった時期に一度減少したものの、すぐに増加に転じました。2021年7月1日時点での市内の外国籍人口は

2,579人です(市の総人口の約2パーセント)。そしてコロナ禍が収束した暁には、さらに多くの人々を新たな隣人として国分寺市に迎えることになるでしょう。

国分寺市の多文化共生は新たな段階に入ろうとしています。コロナ禍のために日本語教室が閉鎖されている間、オンラインで日本語のレッスンを受けるために、日本語を学ぶ会員がビデオ会議の設定をするなどして貢献しました。市内の大学では、来日して間もない会員がゲスト講師を務め、様々な言語を紹介しました。外国ルーツの会員が協会でリーダーシップを発揮する日も遠くないでしょう。だれもが地域の仲間として活躍できる真の多文化共生社会を築いていこうではありませんか。



KIAの活動の基本である会員のボランティアには、こんな活動があります。

“やりたいことを、できるときに、できる範囲で、楽しみながら” ~KIAボランティア活動の紹介~

KIAは会員ひとりひとりの創意と工夫によるボランティア活動を通して、外国の方々と交流を深め、相互理解と国際親善に努めることを目的とし、会員が主体となって、さまざまな活動をしています。

◎ 外国人の方に日本語を教えたい	→ 日本語教室スタッフ
◎ 子育て中の外国人の方を支援したい	→ 子育て支援スタッフ
◎ 外国ルーツの子どもたちの日本語・教科学習をサポートしたい	→ 外国ルーツの子どものサポートスタッフ
◎ 地域の子どもの国際交流に携わりたい	→ 地域の子ども対象 国際交流スタッフ
◎ 講座やイベントの企画や当日のお手伝いをしたい	→ 講座・イベントの企画運営スタッフ
◎ 語学教室の企画や運営に興味がある	→ 語学教室スタッフ
◎ 広報誌の作成、ホームページ制作や取材・執筆活動がしたい	→ 広報スタッフ
◎ 語学力を活かして通訳・翻訳がしたい	→ 通訳・翻訳スタッフ ※現在新規募集停止中
◎ 外国人の方：地域の人に自分の国を紹介したい	→ 外国人ボランティアスタッフ

KIAにはこんなボランティア活動があります。「こんなことがしてみたい」「このスキルを活かしたい！」など、あなたの想いにピッタリのボランティアを探して、ぜひ体験・参加してみてください。詳しくはKIAホームページで。お問い合わせは事務局まで。



交流支援部会、国際理解部会、日本語教室部会、外国語部会、広報部会 — KIAは、5つの部会で活動をしています。

KIA創立30周年記念に寄せて

交流支援部会 梶原 孝子

KIA創立30周年おめでとうございます。
今から20年位前でしょうか。姉妹都市マリオン市のハレットコウヴ校の高校生との交流プログラムに我が家の娘が参加した事でKIAを知りました。大変懐かしく思います。
それから10年が過ぎKIAに入会し、現在は交流支援部会に参加しています。部会のボランティア活動の一つに「外国にルーツのある児童・生徒の日本語・学習支援

サポーター」があります。市内の小・中学校で約6カ月間の支援をします。初めて会った時の子ども達の緊張した表情に、日本での生活への不安や心細さが伺えました。短い期間ですがサポーターとして子ども達が少しでも安心して、心穏やかな学校生活が送れるようお手伝い出来ればと思って活動しています。KIAに入会し、このような活動に参加出来た事を嬉しく思います。

日本語教室で活動させて頂いて

日本語教室部会〈昼〉 山本 順子

ここ3年ほどですが、私は毎週金曜日に本多公民館の日本語教室に参加をして、学習者さん達と勉強をしています。国際協会主催の日本語教師養成講座を受講したことがきっかけでした。当初は日本語を教える事が難しく、続けていけるかどうか不安でしたが、教案作りから始まり先輩のスタッフの皆さんからご指導を頂き、今日まで楽しく続けています。
今までの授業で一番印象に残っているのは、中国、台湾、タイ、ネパール、パキスタン、ナイジェリアからの学習者さん達と勉強をした初級のクラスです。「お酒を

飲みますか。」「牛肉をたべますか。」等の質問に対して大変興味深い答えが返ってきました。それぞれの学習者さんのお国の文化、習慣が垣間見られる事を実感しました。
週に一日、それも2時間という短い時間での学習者さん達との出会いですが、日本語教室を通じて彼らとの会話から外国の方々の機微に触れさせて頂けることは、大変有難く私の楽しい時間になっています。これからも学習者さん達と楽しい時間を過ごしていきたいと思っています。

国際理解講座「世界を知ろうシリーズ」をこれからも

国際理解部会

国際理解部会といえば国際理解講座で、国際理解講座は協会設立の2年後の1993年に開始し、2003年からは「世界を知ろうシリーズ」として、世界各地の文化、歴史、社会情勢などをテーマに、それぞれの国・地域の事情に詳しい専門家に講演していただき、年に4回開催しています。
講座を意義ある活動として続けるために最も重要視しているのは講演テーマの設定、講師の人選で、講演テーマの設定は部会で検討して決めますが、講師の人選は藤

井宏さん(故人)が幅広い人脈を活かして亡くなる直前まで引き受けてくださり、テーマに見合った講演内容になるよう毎回講師と直接話し合っていて決めていました。現在は事務局の協力を得ながら部会員みんなで検討しています。「世界を知ろうシリーズ」の各講演内容の記録は協会ホームページまたは書面で閲覧することができます。
講座参加者の中にはリピーターが多いですが、まだ参加されたことのない方はぜひ一度ご参加いただくようお願いしています。

国際協会30周年記念によせて

日本語教室部会〈夜〉 石野 信子

コロナ禍という不自由な生活の中ですが、日本語教室の活動のおかげで、楽しく充実した時間を味わうことが出来ました。Zoomを通してですが、意欲のある外国の青年と日本語を学び合う中で、仕事や生活、家族や故郷などについて語り合い、互いに知っていくことは、私にとってこの上ない喜びでした。わからないな、おもしろいな、驚いたなど、お互いの国の文化を、写真や本など

からでなく、相手の言葉や表情を通して理解することは、素晴らしい体験です。
それも国際協会の皆様の、30年にわたる努力の結果です。先輩の方々、一人の人を大切に繋がりとういう精神で、外国で生活することの大変さを理解し、支援する努力を積み重ねてきたことよって、今私たちが活動をする事が出来ると感謝しております。

日本語教室〈昼〉〈夜〉の学習者からも原稿を寄せていただきました。



七年半にわたる活動 Rogier van der Velde (ロヒヤ・ファン・デル・フェルデ) さん 日本語教室〈昼〉：オランダ

私は七年半前にKIAで日本語の勉強を始めました。その時まだ日本語は上手ではないにもかかわらず、国際協カイベントにも誘われました。最初のイベントでは、私の故郷ライデンと日本の絆についてお話をしました。初めは緊張して、皆さんの前でお話するのは難しかったです。二回目は空手の型を実演してお見せしました。空手には自信があるので、日本語でお話するより簡単です。

別のイベントで子供たちとスイカ割りして遊ぶことができ、楽しかったです。今はコロナのためKIAに行けませんが、最近イベントと勉強をZOOMでやり始めたので、VoiceTraのイベントでもロールプレイをしました。オンラインもいいですが、また皆さんに会いたいです。



ありがとう〜日本！

林 素儀(リン・ソギ)さん 日本語教室〈夜〉：台湾

世界中各国がコロナ禍で困っています。今年5月上旬まで台湾ではコロナについては、良くコントロールされていましたが、中旬になって台湾にもコロナ感染者が多く出てきました。
当時、ワクチンの購入や運送面で困難になり、どうすればいいのか、台湾政府と国民は皆不安になり、私は日本にいても台湾の家族や親友のことが心配になっていました。しかし、6月4日に日本政府が速やかに約120万回分のワクチンを送って頂きました。又7月8日、15日にも続いてワクチンを送って頂き

ました。この援助は正に早天慈雨です。
日本と台湾とは兄弟だと言われていますが、その心尽くしにとても感謝しております。
コロナ禍が収束後、台湾の友達皆が日本に来て旅行しながら、日本の方々とお会いして感謝の気持ちを伝えたい、と私に伝えてきました。その日が早く来ることを願っています。
もう一度、ありがとう〜日本！

国際協会賛助会員としてご協力いただいています。心から感謝申し上げます。



- 多摩信用金庫 国分寺支店
- 公益財団法人 鉄道総合技術研究所
- 学校法人 東京経済大学
- 有限会社 井口葬儀店
- 一般社団法人 国分寺市医師会
- リオン株式会社
- 国際ソロプチミスト国分寺

(敬称略・入会順)

- 東京国分寺ロータリークラブ
- 東京国分寺ライオンズクラブ
- 株式会社 日立製作所中央研究所

国際協会の活動に賛同し、応援して下さる賛助会員を募集しております。
詳しくは、国際協会事務局までご連絡ください。

- 国分寺市人口：127,688人
- 市内在住外国人数：2,570人 (2.1%) (2021年8月1日現在)